

雨季の再来

5月中旬頃から待ちに待った雨季がやってきました。4月中旬のカンボジア正月までは38度前後まで気温が上昇し、どこにいても汗が流れおちるような日々でした。5月に入るとそれまで高いところにあった雲が低い位置にも現れるようになり、それはいかにも雨を落としていってくれそうな灰色の雲に変わっていききました。未だ毎日降るわけではありませんが、時にはまとまった激しい雨が降るようになりました。先日も強い風と共に激しい雨が降り、瞬く間に農場全体が水浸しになってしまいました。現地の方の話によると、一昔前に比べると雨の降り方やその量にも少しずつ変化が出てきているそうです。最近では雨の量も少なくなっているようですし、雨期の途中、まるで中休みのように突然雨の降らなくなる時期が出てきたと聞いています。

雨が降るようになったので、2つのことを始めました。

1. レモングラスの定植。
2. 6月に田植えを行うため水稲の種もみ播き。

レモングラスの定植に関しては「3年後には年間24トンのレモングラスを出荷する」という目標のもと、今まで植えていなかった畑に定植を行います。

レモングラスの栽培を拡大するため、水稲の栽培面積が少なくなりますが、お米を主食として食べるこの国にとって水稲を栽培することは大切なことです。そのためモデル区の3枚の水田には昨年同様、雨季の間に2回作付けを行います。モデル区で継続させることには理由があり、①道路に近く近隣の方々に見てもらうことができるため。②今まで手を加え続けてきたおかげで少しずつ収穫量が上がってきているためこれを継続させる。ということが挙げられます。実際、昨年作付けた



レモングラスの畑から大きな株を選び掘り上げた後、一番暑い時間に作業場でみんなで株分けを行います。そして少し涼しくなってから植えつけを行います。



今年の水稲の苗です。発芽してから1週間くらいの時の状態です。草丈は5センチくらいです。20日間ほど育苗します。

際には近所に住む数人のカンボジアの方に上手に栽培できていることをほめていただきました。

今年の田植えは孤児院の子どもたちをお願いするほどの面積はありませんので、私たちだけで田植えを行います。それでも5月からはスタッフとして2人のカンボジア人も加わっています。アニャン君とマップ君です。私たちのような外国人との接点が今までなく、少々言葉のやり取りに戸惑うときもありますが、そのようなことに臆することなく一緒に作業をしてくれています。もちろん、今まで一緒にやってきてくれた管理人さんやその家族にも協力していただいています。そして6月からは語学研修を終えた早藤君も加わりました。

今回のレモングラスの植え付けや水稻の田植えの際には、その間隔に特に気を付けています。「光合成や吸肥が均一になるように促すこと」、「除草や収穫時の作業を効率よく行えるようにすること」が目的となります。このことは一緒に作業をしてもらう前に説明をし、よりはっきりさせるため列ごとにヒモを張りながら作業を進めています。さらにレモングラスは、栽植密度や植え替え時期がはっきりしていないため、試験のための区画を準備し栽培をします。

どのような作物を栽培するのに必要です。その肥料を自分たちで確保するためニワトリを飼育しているのですが、今までの経過を振り返ってみると親鳥に潰されたり、ネズミに食べられてしまったりといった理由で雛のうちに死んでしまうことがほとんどでした。

そのような状態を改善するため4月に孵化した雛は親鳥から雛を放し、雛だけ別にして飼育をしています。すべての雛が卵の殻を破り親鳥の下で鳴くようになってから別の箱に移すのです。その後1週間ほどは小さいくちばしに強制的にエサを与えたりもありませんし、自らエサをついばむように仕向けています。自分たちでエサをついばむようになれば一安心です。そして十分な大きさになってから小屋に戻すのです。



新しく加わったアニャン君（左）とマップ君（右）。
農場の近くに住んでおり毎朝自転車で通ってきます。

編集後記

新しく私たちの仲間に加わってくれたアニャン君とマップ君。自分たちの家でも常にご両親の仕事の手伝いをしていることからよく働いてくれます。農作業も手慣れたもので、そのスピードも速いです。レモングラスの植え付けも黙々とこなしていきます。今後はこのような人たちがこの農場にたくさん集まることとなります。

このようにスタッフが増えたこともあり、にぎやかになってきました。その一方で日本人スタッフは「まだまだ言葉が足りない」ということを痛感しています。このことを解消するためには、まず「話すこと」と些細な話題でも話しかけるように努めています。話し言葉の使い方や発音が追い付かないのですが、そのようなことが逆に笑いを誘ってくれるようです。人が増えにぎやかになった農場を是非見に来てください。

飯島